

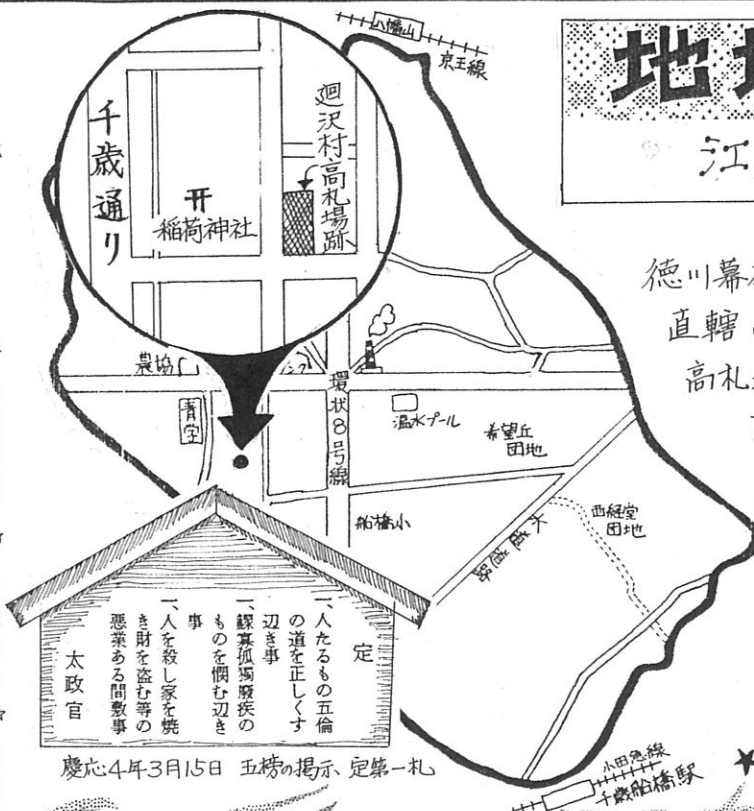
地域めぐり

江戸時代の高札場

徳川幕府初期から終期まで徳川幕府直轄の高札場であったが現在もお高札場跡として表示標が立っている。

野島家は当時の名主であり、この高札場の責任者として幕府からの高札を管理していた。廻沢村の住民に対する幕府からの「おふれ」を掲示し周知徹底をはかったものである。
(遠田 敏夫)

★この地区での高札場をご存知の方はご一報ください!



震災時井戸水提供井戸状況(1980調)

町別	井戸数	X	O	良水%
粕谷	8	8	0	0
千歳台	9	6	3	33
船橋	13	9	4	30
八幡山	18	10	8	44
計	63	38	25	35

X 飲料不適 O 適

まちから用水や川がなくなくなって久しい。残された鳥山川や小川はいまやどぶ川となった。すべての水(生活用・排水)が下水道という巨大なトンネルを通して森ヶ崎に。こうした巨大な体系がまちから水をなくしつつある。千歳台4丁目まで下水道パイプ工事、私は地下にもぐった。深さ約9mの

失われた水をもとめろ

いま地下水は

ところどころに、いまの夕摩川の川原を思わせるきれいな礫と砂まじりの層があり、澄とおたきれいな水(地下水)がジョジョロと音を立てて流れいていた。いま、まち中の下水道工事、こうした地下水層を大胆に切っている。地下水もあぶない。

上の表はまちの井戸の状況であるが、飲料に適・不適からみても、かつての良水の面影はなくなっている。

川と水、地下水をよみがえらせるにはどうしたらよいのだろうか。(三井 勝雄)

編集後記

10/27から読書週間。人と人の出会いもさることながら一冊の本で一生が変わったという人も...
“本との出会い”
大切にしたいですね!
(編集委員会)



投稿コーナー
生きがい 寺田 勉

当区の65以上の人口は、73547人であり、老人実態調査によると、「おたきり老人は245人、独り暮らし老人は40人ということ。老人人口は、区民の24%に達し、今後急テンポで進行すると予測されます。

無趣味は、若さを失い、心身共に千からびてしまい、ひいては、「生きがい」をなくすことにもなります。若さは、芸術という人もいますが、金で買えない「空」でもあります。よく名刺の肩書がとれると、とんに若さを失い、しぼんでしまう人がいますが、退職後こそ、人間本来の自由な自分の人生である筈です。老人クラブに入会するだけでは意味がありませんし、六十の手習い、八十の手習いともいわれます。いろいろの教養講座に参加することこそ、若さを保つことにもなるのです。

「千歳老友会」には、囲碁部、歌と詩吟部、民謡部、ダンス部、水墨部、茶道部、三味線部、書道部、ゲートボール部、旅行部、等があり、盛んに活動しています。

その活動の場である「船橋敬老会館」も来年度以降改築され、船橋地区会館(仮称)として生まれ変わる予定です。

以上「千歳老友会」の現況を、案内しました。入会御希望の方は、有会長までどうぞ!!
ごんわ (三〇二)一〇七四六



土を愛するとは、自然を愛することです。本橋善一さんは、きっぱりとこう言われました。今住定化してしまつた粕谷の里に、粟や野菜、植木を育てておられるという氏が、ご自分の精神生活の基礎を農業においておられるというこ

とを改めて知ることが出来まし



育つた自分は、自然の中に溶けこむのです。とも話されました。しつかりと大地に足をふんばって、いる方の哲学をそこに見る思いが

プロフィール

本橋 善一

保健衛生協力委員

砧2地区代表

成城消防団3分団長

谷区青少年委員の監査をはじめと

して、青少年地区対策委員会の副会長、その他数多くの活動で、大変ご多忙なしかし充実した日々を送られているようです。「そついう充実した現在があるのは、会長もしたるの、PTA活動の中で得た仲間をはじめ、それぞれの出会いの場での、多様な仲間とのふれあひのおかげであり、そこで視野を広めることが出来たのです。と熱をこめて話されました。

発行：編集委員会
編集者：堀江 貞雄
責任者：
事務局：砧2出張所内
(482)0343
1985. 10 №14

ちとせ 砧2

「人間とは、最後に土を愛するもの、土に帰納するものではないでしょうか。自然の中で

ほとんどが農家畑の中道をやや歩いて隣家にゆくと、いった時代……
当時9月1日は五節句の一つとされ仕事は休んでいた。うどんを食べ遊びに行こうとした時!! 何度か転んだりはったりして竹やぶに逃げる

東京や横浜の空に白い雲が湧き上つたので入道雲と思ひ教科書を見たものの夕方になつてそれが火事と知つた。

翌2日、朝鮮人暴動の噂で井戸にふたをし近所の人達が泊まり込み夜警に当つたり、祖師谷の雑木林の辺まで竹槍を持って山狩りをした。また宇奈根にあつた「わかもと」には兵隊が出動したほどだつたという。

(橋場酒屋の)



一部落(農家だけ)30戸位の桜丘で……ドドッ!!と音がして震動があり、何がなんだかもう転げる様にして自動車隊(今の農大)の広場に避難した。そこから見る夜の東西の空は真赤に広がり、その色で辺りが明るく見える程だった。朝鮮人動乱のデマで幾日かそこで泊まつたが、青年団が夜つびで警備をしてくれた。

その頃共同でスイカを神田まで出荷していたので、上荷で行つた人達が七くなられた。何回もの余震で四六時中体がゆれているようだった。ただ恐ろしく人の集まる所に居たか、事を記憶している。80才のおじいさんは最後まで竹やぶで頑張つたそうだ。(中杉さん 12才)

座敷でねころんでトウモロコシを食べていた時だったという。火の見やぐらの傍の竹やぶまで逃げた。こわれた家はひかつたが東の空が真赤に燃え広がった。

竹槍を作つたりしてデマに備えたものだ。ウテナ工場の辺りでは間違つて殺された人もあつたとか。

(富国生命前の内海氏 12才)

萩原 知恵



おとしよりの施設

第二有隣ホーム

有隣ケアセンター

RC造 階積 13面
地下上 延床 4091m²
地延 4091m²
総工費 約10億

おとしよりの地域ケア充実のため、第二有隣ホーム完備80名と有隣ケアセンターが、船橋2丁目の有隣病院の隣地に竣工しました。この施設は、特別養護老人ホームで、特に有隣ケアセンターでは次のような内容です。

- ① ショートステイ(一時保護) 8名
- ② 入浴サービス(寝たきり) 10名
- ③ リハビリサービス 40名
- ④ 食事サービス(1日1700円) 50名
- ⑤ 相談サービス(ケアセンターへ直接申し込み) 人数は定員です

寝たきり老人、一人暮らし老人、通いの老人などの一時保護や入浴サービスなど、在宅福祉サービスの専門施設といえます。このようは施設が多くて、できることを期待するものです。

申込み、問い合わせは、区役所老人福祉課 幸仕係(412)二二一内線 2414 (猪狩 利美)